

2022年6月28日

各 位

不動産投資信託証券発行者名  
東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地  
アドバンス・レジデンス投資法人  
代表者名 執行役員 樋口 達  
(コード番号：3269)

資産運用会社名  
東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地  
伊藤忠リート・マネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 東海林 淳一  
問合せ先 執行役員 住宅事業本部長 工藤 勲  
(TEL：0120-938-469)

## FIT 非化石証書の購入による実質再生可能エネルギーの導入に関するお知らせ

アドバンス・レジデンス投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）は、この度、再エネ価値取引市場において FIT 非化石証書を購入し、本投資法人保有物件共用部（以下、「物件共用部」といいます。）の 2021 年度電力使用量について、実質再生可能エネルギー100%導入を達成いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本件の概要について

本投資法人は、脱炭素社会の実現に貢献するべく、サステナビリティに関する重要課題（マテリアリティ）の一つに、「エネルギー消費量・CO2 排出量・水消費量・廃棄物排出量の管理と削減」を掲げております。この度、この課題に対する取り組みの一環として、仲介事業者（株式会社ホールエナジー）を通じて、再エネ価値取引市場の 2021 年度第 4 回オークションに参加し、トラッキング付き 2021 年度 FIT 非化石証書を購入（以下「本購入」といいます。）いたしました。

本購入により、物件共用部における 2021 年度の電力使用量約 1,380 万 kWh は実質再生可能エネルギー100%由来となり、結果、物件共用部における電気由来の温室効果ガス排出量の 100%である約 6,902 トン (t-CO2 換算)<sup>※1</sup>の削減（2021 年度の温室効果ガス排出量における Scope2<sup>※2</sup>のうち 99%の削減）を達成したこととなります。

※1…2021 年度物件共用部電力使用量×排出係数により算出。なお 2021 年度の本投資法人保有物件における温室効果ガス排出量のうち、Scope1：169 トン、Scope2（マーケットベース）：80 トン（いずれも t-CO2 換算）について、(株)サステナビリティ会計事務所から第三者保証報告書を受領しております。

※2…本投資法人の 2021 年度温室効果ガス排出量における Scope2 は電気及び地域冷暖房由来のものを指します。

《FIT 非化石証書・再エネ価値取引市場とは》

FIT とは、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（Feed-in Tariff）を指し、非化石証書とは石油や石炭等の化石燃料を使っていない「非化石電源（電気をつくる方法）」で発電された電気が持つ「非化石

価値」を取り出し、証書（「非化石証書」）化されたもののことを指します。

2018年からFIT非化石証書の取引が開始され、2021年11月には、需要家もより安価に電力の再エネ証書を購入することができる再エネ価値取引市場が創設されました。本市場にて取引された非化石証書の売却収入は、再生可能エネルギー発電促進賦課金の原資にあてられることから、FIT制度による国民負担の軽減が期待できると言われています。

《FIT非化石証書購入の仕組み》



2 本投資法人及び資産運用会社の今後の取組み

本投資法人及び資産運用会社である伊藤忠リート・マネジメント株式会社は、中・長期的な資産価値の維持・向上のためには、脱炭素社会実現に向けた貢献、地域社会への貢献及びテナント満足度の向上等を中心としたサステナビリティに関する取組みが重要であると認識しています。今後につきましても、それら取組みを推進することにより、投資主価値の更なる向上を図って参ります。

以上

**アドバンス・レジデンス投資法人とは**

伊藤忠グループの資産運用会社「伊藤忠リート・マネジメント株式会社」が運用する、Jリート最大の住宅特化型リートです。東京都心を中心に全国に270物件超の賃貸住宅を保有し、資産規模は4,600億円を超えています。住宅という安定したアセット、Jリート最大の積立金（剰余金）を活用し、長期安定的な分配が期待できるディフェンシブ性の強いJリートです。

※「アドバンス」は、伊藤忠リート・マネジメント株式会社が運用する不動産投資法人の共通ブランドネームです。

本投資法人のホームページアドレス：<https://www.adr-reit.com>

資産運用会社のホームページアドレス：<https://www.itc-rm.co.jp/>